青年期に記述された生育史における母親との関係と

成人期の適応に関する縦断的検討

○山岸 明子

(順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科)

キーワード：縦断的研究、母親との関係、成人期の適応

Longitudinal Analysis of Relation to One's Mother in Life History Described in Adolescence and Adaptation in Adulthood

Akiko YAMAGISHI

(¹Graduate School of Health and Sports Science, Juntendo University)

Key Words: longitudinal study, relation to one's mother, adaptation in adulthood

目 的

看護専門学校卒業生に1991-1995-2010年に縦断的研究を行ってきたが、1990年在学中に記述してもらった生育史の内容と2010年時の面接で語られたこと、及び1991-2010年間の質問紙調査の変化や現在の適応感との関連を分析し、生育の過程での母親との関係と成人期の適応との関連を縦断的に検討する。

方 法

【被調査者】1990年看護専門学校3年時に生育史を書いた50名の内、質問紙と面接の両方に応じた9名。年齢40~42才。看護師7名(内6名はパート職)、看護教員1名、その他1名。9名中8名が既婚。既婚者は全員子どもがいる。

【質問項目】1991年の調査項目に準じた項目-詫摩・戸田のIWM尺度他ほかに、現在の適応を見るものとして時間的展望尺度(TP)、レジリエンス尺度(R)、現在の満足度(8側面)、及び自分の変化に関する自由記述等。郵送法で回収した。

【面接】卒業後どのように過ごしてきたか、つらかった・大変だったこと、自分にとって重要だったこと、子育て・仕事の意味、生育の過程、自分の変化等。計40分~1時間程度。

結 果 と 考 察

各尺度別の合計点、更にIWM総点(Secure-(Ambivalent+Avoidant)/2)を算出した。

生育史を山岸(2000)の分類を参考にA良好-部分的に問題表

題はあっても全体的には良好、B-いくつか問題がある、C-大きな問題があるに分類した。Aが3名、Bは過干渉のケースが1名、充分な養育を受けたと感じられず愛情欲求が満たされないケースが3名、Cが2名であった。

2010年の面接で語られた生育の過程は、1990年とほぼ同じ内容であったが、より具体的な内容になったり以前には語られなかったことが語られる場合もあった。

3群別の生育史における母親との関係と2010年の語りの概要、仕事への思い、IWMの変化、現在の適応は表の通り。

生育史良好群は現在夫との関係があまり良好ではなく、①と③はIWM得点が低下している(但し①はそれでもIWM得点も適応感も高い)。③の生育史は青年期には良好だったが、成人期にはマイナス面が語られており、IWM得点が低下し適応感も低い。この群は仕事への志向が強い者が多い。

子ども時代に愛情欲求が満たされなかった小問題群の3名は、長ずるに従って親との関係はある程度好転していたが、よい夫と出会って家庭を重視する生活をしており、IWM得点の低下や不適応感は見られない。

大変な状況を生きてきた問題群の2名は、⑧がよき夫と母性的な姑と出会ってIWM上昇、適応的になっているのに対し、⑨は回避的な生き方を続け自分らしくいられる場を模索中と、成人期のあり方が大きく異なっている。生育過程の問題による影響がその後の他者との出会いによって変わる場合もあることが示されている。

		生育史1990での母親との関係	面接2010での語り	仕事	IWM	TP	満足/R
良 好 群	①	一貫してよい関係(青・専特に記述なし)	母親が死亡し虚しい気持ち 育てにくい子供 夫-性格反対×思いの共有 サポート源は多い	充 実 感 仕事>家庭	16/8.5 低下	59	4.50 (112)
	②	(青-反抗 うざかった)以外は良好	夫-子どものことで意見合わず 子育て-専念して楽しかった 社会とつながりたい-仕事を開始	(出会いが楽しい)	4.5/4.5 同	53	4.13 (117)
	③	児-母には何でも話せた(但し比較されるのが嫌)	父親のDV-母親の愚痴 協力しない夫への不満・ストレス源。子供-かわいいがストレスでもある	天職 > 自分らしさ	9/-2 低下	42	2.88 (121)
小 問 題 群	④	過干渉・束縛	父が死亡し家族のつながり増。夫に批判的 母の助けを得て仕事 家族重視。夫より母の方が大切	いざとなれば退職 <	11.5/11.5 同	56	3.50 (1.22)
	⑤	愛情欲求-気を遣い遠慮し我慢 よい子(小3,4まで)	親に支えてもらえず。厳しい母 出産後変わる 夫-わからうとしてくれる。前向きな友人の影響	生活のため仕事<家庭	6.5/11.5 昇	52	4.13 (128)
	⑥	愛情欲求-関心をかおうとした(児~中)	放任-弟に嫉妬 頼らず自分でやる 高校から変わる 夫-協力してくれる 自分は家でのマネージャー役	気分転換 <	3/6 同	51	4.25 (108)
問 題 群	⑦	愛情欲求-幼 接触少 ばあやになつく 高校-干渉	兄に嫉妬 今はわかる 親になりかかわり変化 夫に何でも相談 子どもが慕ってくれて嬉しい でもベタベタできない	生活を楽しむ <	5.5/4.5 同	50	3.13 (102)
	⑧	大人びた子 厳しいしつけ	虐待の回想 支えなしで一人で解決してきた 夫-理解し援助してくれる 母性的な姑との交流→協調的になる	おまけ < 家庭が全て	-3.5/6 上昇	56	4.88 (131)
	⑨	死亡-預けられてつらい経験	心理的に一人で生きてきた。回避的。今も重要な人として思い当たる人はいない。自分らしくいられる場を模索中	自分の生きる場	-3/-4 同	30	2.00 (104)